

「専攻科福祉専攻の閉科」に寄せて

社会福祉法人松竹会
障害者支援施設 シーサイド吉前
所長 七原規充

今回、福祉事業発展のために寄与されてきた、豊橋創造大学短期大学部専攻科福祉専攻が閉科となると伺い、今まで実習あるいは、就職などを受け入れてきた事業所として、大変残念でなりません

当施設に就職された卒業生のみなさんには、相談業務や介護業務など将来の幹部候補として中心的な役割を果たしていただき、大いに囑望されているところですが、後進の道が閉ざされたことは我々にとっても痛恨の極みであります。

しかし、これから益々福祉人材が不足する中での閉科は、大学関係者の皆さまにとっても断腸の思いであったことと推察され、様々な動向を考慮すればやむを得ない措置であったとも思います。改めまして関係者の皆さまには今までのご尽力に感謝を申し上げます。

実習生から教えられることは多々あり、実習が施設にとっても改善、成長の機会でもありました。学生の皆さんからの素朴で率直な指摘にこそ、施設が抱える問題点が潜んでいることが多々ありました。

創造大の実習生のみなさんは、礼儀正しく、真摯な気持ちで実習に取り組まれていました。教員のみなさんも大変熱心に指導されていたことが印象に残っています。

専攻科は閉科になっても、創造大のみなさんとはこれからも様々な場面で親しくお付き合いができたと思っています。また、福祉にご興味のあるある学生さんがみえましたら、ぜひ就職もご検討いただけたら幸いです。

最後になりましたが、創造大学並びに短期大学部の益々のご発展を心よりご祈念申し上げます。